

学校評価保護者アンケート（自由記述）の結果について

※主だった意見を紹介させていただきます。内容をまとめさせていただいておりますので、ご了承ください。また、特定の個人を中傷するような内容については、割愛させていただきます。

○学級・学校について

- ・少人数の学校だからこそなのか、他学年の児童とも交流があり、とてもよい雰囲気だと感じます。（出張等の不在で）担任の先生だけでなく、いろいろな先生に触れ合う機会が多くあり、子どもたちにプラスに出ていると思います。少ない教職員の方々が学校経営をするのは大変だと思いますが、先生方のチームワークのよさが子どもたちに表れていると思います。今後ともどうぞよろしくお願いします。
- ・毎日楽しく学校に行っているので、安心しています。ありがとうございます。
- ・人数が少ないメリットとして、一人一人が主役になれるところ、そこを先生方が子どもの個性を見極めて主役になれるように子どもたちに関わってくださっているので、人数が少なくてもよい学校だと思います。
- ・子どもたちも落ち着いていて雰囲気がよいと思います。先生方も連携していて「チームみなみ」というアットホーム感がよいと思います。怪我等したときも個々に十分すぎるほど対応してくださってありがたいと思います。
- ・子どもの性格上、いつ「学校に行きたくない」と言われるかとひやひやした6年間でしたが、とてもいい先生に巡り合い、またいい友達と出会い、何とかかんと卒業できそうで、ほっとしました。学校の中がもう少し自由な部分があれば、行きやすい場所になるのではないかと…と思います。
- ・友達に恵まれてよかった反面、悪い人に対する免疫がないところが心配です。先生方は子どもたちと積極的に関わってくださるので、安心して預けられます。
- ・布佐南小学校は首から上の怪我等、小さなことでも電話をくれるので、とてもありがたいと思います。
- ・子どもの体調を気にかけてもらえるのはありがたいのですが、声をかけてもらいすぎて、本人の甘えも出て学校を休んだり早退したりハードルが下がってしまっています。もう少し適度な声かけにしてほしいと思います。
- ・学校での生活がひどく窮屈に感じているようで、日々笑顔が減っていく子どもを見てかける言葉が見つからないときもあり、学校に通わなければならない理由を話しながら、やりきれないときもあります。
- ・業間休み等に他学年と遊ぶ際、一緒に遊んでいた先生が子どもたちに不適切な言葉を言ったと聞きました。子どもたちと一緒に遊んでいただくのは学校に慣れる意味でもありがたいのですが、もう少し言葉の遣い方に配慮してほしいものです。
- ・来校した際、担任ではない先生で目があっても挨拶をしない先生がいらっしゃいますが、子どもたちに指導するのであれば、受け持っていないクラスの保護者にも挨拶し

てほしいものです。目をそらされるとこちらも挨拶できません。

- ・毎日楽しく学校に通っております。学校の勉強についてわからないことがあったとき、「先生に聞いてみたら？質問しておいで」と言ったことに対して、「だめなの」と先生にわからないことをわからないと言えないように感じている様子です。子どもの性格にもよりますが、個人的にみんなの前で質問をすること、わからないことを聞いても恥ずかしいことではないことを、先生から少し話してもらえると、子どもたちも安心して話ができると思います。親が「大丈夫だよ。先生は話を聞いてくれるよ。」と言っても「だめなの」という答えが返ってくることに少し心配があります。よろしく願いいたします。
- ・学校での子どもの姿と家庭での子どもの姿が違いますが、帰宅後の過ごし方やマナーのことを学校でももう少し指導していただくと助かります。(もちろん家庭でも十分声をかけております。)

○学習について

- ・子どもの自主性に任せず、毎日宿題を出してほしいと思います。小テスト等、回数を増やし、学力向上に力を入れていただきたいと思います。
- ・小中一貫教育とは具体的にどんな取り組みなのか少し気になります。
- ・学校や図書館で本は借りて読みますが、自分の興味・関心のあるものばかりで、物語は読みません。楽しく読めるお勧めの物語本等、紹介していただきたいと思います。

○特別支援教育について

- ・いつもお世話になります。先生方との間で、わが子の特性やクラス・家庭での様子を共有していただいて、助かっていますし、安心感につながっています。
- ・布佐中区の小中学校連携について、特別支援教育についても積極的に実施していただきますようお願いいたします。特に、小学校→中学校→高校と進学するにつれ、子ども本人も周りのお子さんたちも、教員の皆様も、環境が変化しますが、学級運営に支障がない範囲内で、本人の意思を尊重した、普通学級と支援学級の交流や学習支援が受けられるよう、小中学校間での情報共有・引き継ぎをお願いします。
- ・いつも子どもに手厚い支援をしていただき、感謝しております。今後も先生方と連携をとらせていただければと思います。

○学校行事について

- ・授業参観を土曜日にしてほしいと思います。
- ・学校の都合もあり難しいのかもしれませんが、学校行事が月曜日と金曜日に行われる回数が多い気がします。会社の都合上、月曜日、金曜日特に月末・月初めは仕事を休むのが非常に大変で、いつも何とかして休んでいます。月曜日、金曜日にあまり集中しないとうれしいなと思います。
- ・学習参観や行事の際、車で少し行けるようにしてほしいと思います。小さい子どもがいて、なおかつ足の不自由な祖母がいて、なかなか祖母を学習参観等に誘うことができません。祖母はとても学校に関心がありますが、歩いていけないため、とても残念がっております。
- ・運動会の放送（実況とか競技案内とか）は、卒業生ではなく放送委員の子どもたちが

やった方がよいと思います。

○その他、家庭、地域について

- ・読み聞かせは子どもも楽しみにしているので、これからも続けてほしいと思います。

【アンケート結果を踏まえて】

- ・本校は我孫子市内で最も児童数が少ない小学校です。その特性を生かして、一人一人に目を向け、一人一人に寄り添って、お子さんの成長、発達を支援していきたいと考えております。まだ自分の居場所がなかったり、困っていることを話せなかったりしているお子さんがおりますので、教職員が一致団結して、一人一人にしっかり目を配り、細やかな指導、支援をしていきたいと思います。
- ・教師の子どもへの言葉遣いについて、ご指摘を受けました。子どもに指導していく立場ですから、言葉遣いについては十分注意していきたいと思います。また、挨拶に関しても同様です。
- ・家庭学習は、学力向上にもつながる重要な事柄です。子どもたちにどんな力を身につけさせたいのかを十分考慮した上で、今後も課題を出していきたいと思います。
- ・読書に関しては、学校でも推奨し、読書する習慣を身につけさせたいと考えています。
- ・小中一貫教育については、「ふさカリキュラム」がスタートするのは3年生からですし、小学生の中学校登校は6年生なので、低学年の保護者にはあまりなじみがないものだと思います。「ふさカリキュラム」とは、総合的な学習の時間を使って地域学習をするもので、3年生は「布佐の自慢カルタ」、4年生は「布佐まちづくりマップ」を作ります。5・6年生は、布佐にゆかりの偉人（井上二郎、岡田武松）について学習します。中学生になると、ふさの歴史をさらに追及し、最後は郷土を発展させるための方策を考え、地域に提言することを目標にしています。
- ・学校行事に関しては、なるべく曜日のかたよりがないようにしていきたいと思います。授業参観を土曜日にしてほしいという意見もありましたが、土曜日を登校日にすると平日に振替休業日を設けなければならないため、毎回土曜日にするのは難しく、年1回にしております。
- ・学校行事に参加する際、車で行けるようにしてほしいというご意見がありましたが、駐車スペースの関係で、車での来校を許可することはできません。一時的に校内に入ることとは可能ですので、足の不自由な方に関しては、送迎する形でお願いしております。

今回のアンケートでは、温かな意見をたくさんいただき、ありがとうございました。なかには厳しい意見もありましたが、これらは布佐南小学校をよりよい学校にするための建設的な意見であるにとらえ、今後の指導や学校体制づくりに生かしていきたいと思います。

今後とも「笑顔と活気あふれる南小一少数精鋭一」を目指して、楽しく充実した学校生活を子どもたちが送れるよう、保護者の皆様と協力していきたいと考えております。よろしくお願いたします。